

第22回『ベンチャー・カップCHIBA』【ビジネスアイデア部門】 応募申込書

応募要領を遵守し、以下のとおり、申し込みいたします。

1 応募者概要

記載日 2023年 9月 1日

(フリガナ)	チバメイトクコウトウガッコウ ザベストキッド	(フリガナ)	サカキバラ タイキ
学校名・ グループ 名※	千葉明德高等学校 The best kid	応募者氏名 ※グループの場合は 代表者役職・氏名	榊原 大樹 (印)
応募者区分：(いずれかに○) 個人 <input type="radio"/> グループ <input checked="" type="radio"/>			応募者年齢：17 歳
連絡先：個人のため非公表 連絡を取りたい場合は、(公財)千葉市産業振興財団までお問い合わせください。 電話番号：043-201-9504 E-mail：sangyosoza@chibashi-sangyo.or.jp			
創業予定※： 年 月		法人設立予定※： 年 月	

※学校名・グループ名、創業予定、法人設立予定は該当者のみ記載してください。

2 ビジネスアイデアについて

(1) ビジネスアイデア名 (概ね 40 字)

ボトル用自動補充販売機「彩煌」 ～マイボトル推進を込めて～

(2) ビジネスアイデアの内容

*実現しようとする製品、サービス等の内容

「誰に対して」、「どのようなサービス・製品を」、「どのように」提供するのかを明確に記載してください。

・販売対象

マイボトルを使う幼稚園児から大学生までの学生と普段からマイボトルで生活する人、空のペットボトルを持っている人。

・内容

従来の飲料系自販機やウォーターサーバーとは違い、本サービスはその名の通りマイボトルや空のペットボトルに提示された飲料を補充して、何度も利用することで、ペットボトルの廃棄率減少を更に加速させる。また、ペットボトルを小分けにして入れる作業が減り、コストと時間が削減できる。

*アピールポイント、他との違い

用いた新たな手法や技術、斬新な考えなどを踏まえながら記載してください。

システムを実装することで、ペットボトル使用率の減少とそれによる脱炭素の促進、さらにはポイ捨てされるゴミの削減ができる。実装すればペットボトルは1年で234億本から58億本に減り、二酸化炭素は約620万トンから155万トンまで減少し、環境問題解決に貢献できる。

※従来のマイボトル給水機との違い

- ・ 販売時に普通のペットボトルの値段より安く提供する点
- ・ 給水機の中にある水と同じメーカーのペットボトルを無くすことでこのプランの使用率を高める点
- ・ ポイント制が導入出来る点
- ・ 補充する量を選択し、その量に応じて値段が変えられる点

*「ビジネス」として成立する理由

本事業が利益の見込める「ビジネス」である点について記載してください。

- ・ 従来の自動販売機よりも安価で製造できる
- ・ ペットボトルに小分けする必要がなく、個数を多くすることができる、それによって販売本数も増える。
- ・ ゴミが無くなることで、ゴミ回収の人件費が削減できる。

(3) この事業が必要とされる社会的背景

この事業を取り巻く環境（社会、経済、顧客ニーズ等）やこの事業で解決される社会的課題又は地域課題をどのように捉え、どのように対応していくのか」という観点から記載してください。

- ・ 海洋プラスチック問題による約10万種の海洋生物の死亡や、波等の影響で海を漂うことにより、多くの場所で同じ問題が起こる問題。
- ・ 日本のプラスチックリサイクル率が2012年から80%を超えているが、その半分以上がOECDの基準でリサイクルとして認識されていないサーマルリサイクル(廃プラスチックを燃やして、その熱をエネルギーにして再活用するリサイクル)であるという問題。
- ・ ポイ捨てされるペットボトルが海岸付近に多くある問題。

(4) 課題解決後の未来展望

課題の解決によってもたらされる、将来の千葉市の姿について記載してください。

自販機から飲み物をマイボトルに補給し、それによってマイボトル使用率が上昇してペットボトルをあまり使わなくなる。それによりペットボトルのゴミが減少して回収する必要がなくなる。

(5) 千葉市内で事業を行う目的

千葉市内では今マイボトル使用運動という活動を行っており、それと連携することで、マイボトルの使用率を上げると同時に、ペットボトルゴミ等のプラスチックゴミの削減や脱炭素の促進に繋げることができる。

3 応募者のプロフィール

- ・チーム名 「The best kid」
- ・由 来 精鋭になりたいから
- ・メンバー

高校2年生 榊原 大樹
// 木村 元信
// 中村 伊吹
// 渡邊 颯斗
// 三上 陽生
高校1年生 釜付 陽斗
// 白川 健祐

- ・提案者：榊原大樹のプロフィール

2006年12月3日生まれ

英語技能検定2級を取得。今年の夏に第25回世界スカウトジャンボリーに千葉県代表として参加し、世界で起こっている問題に他国の者と交流しながら独自の解決案を立案。また開催場所である韓国にてプラスチックゴミの不法投棄を知る。

4 今回の応募動機（あてはまるものに○をつけてください。）

- (1) 資金調達 (2) 販路拡大・事業提携先獲得
(3) その他（具体的に 高等学校の総合探究での取り組み ）

5 今回の応募についてどちらでお知りになりましたか。

- (1) 市政だより、市役所ホームページ (2) 財団ホームページ
(3) 支援機関等ホームページ (4) ポスター、チラシ (5) Facebook
(6) 新聞、インターネット等のメディア（名称 ）
(7) その他（具体的に 高等学校の総合探究での取り組み ）



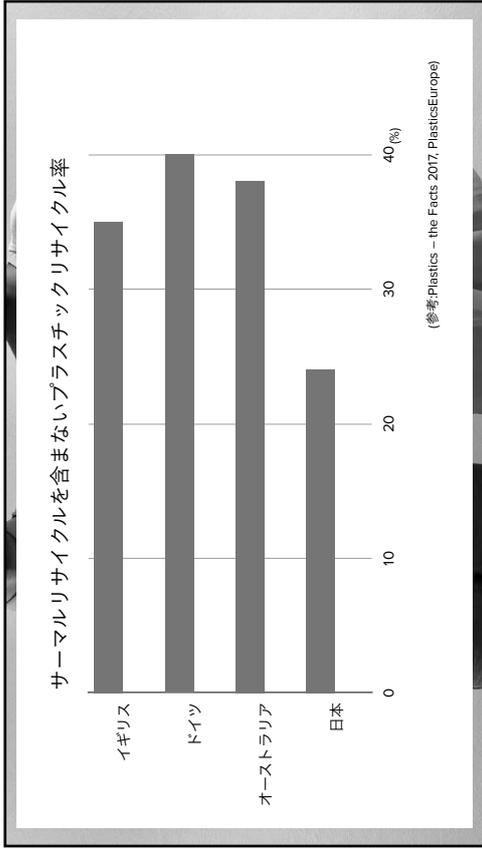
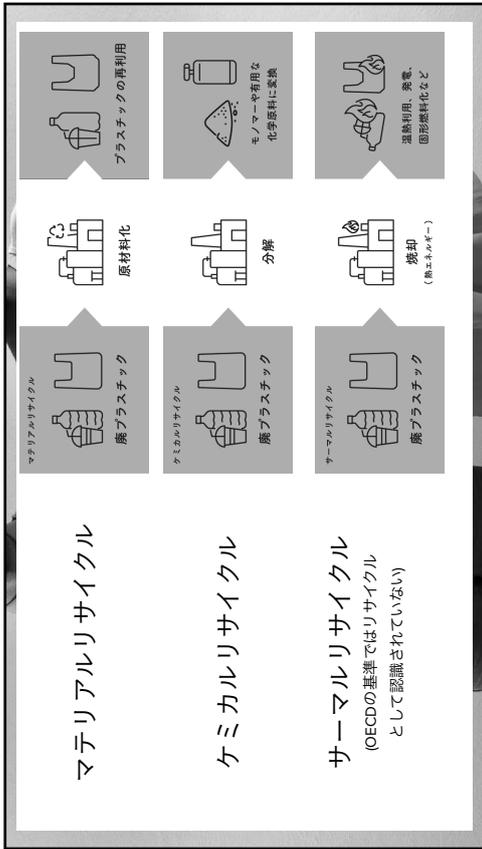
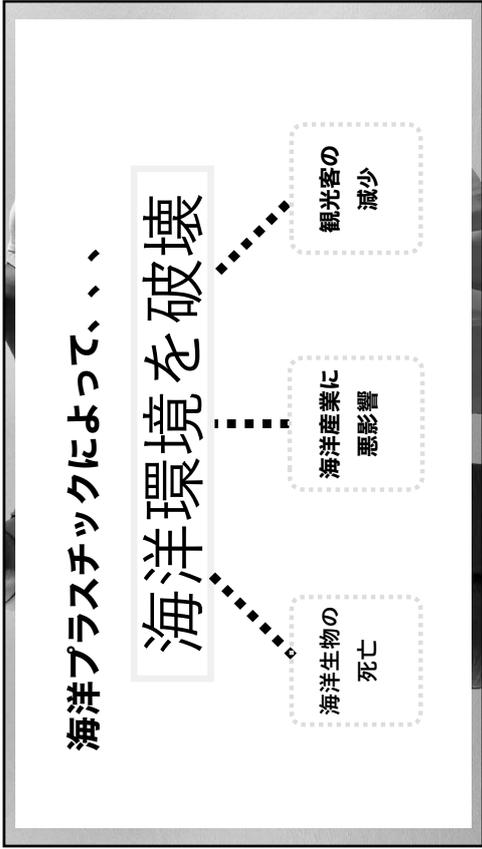
目次

Contents

- ① 既存の問題
- ② 解決策の提案
- ③ 他との差別化
- ④ 解決策の変化と普及



海洋プラスチック問題

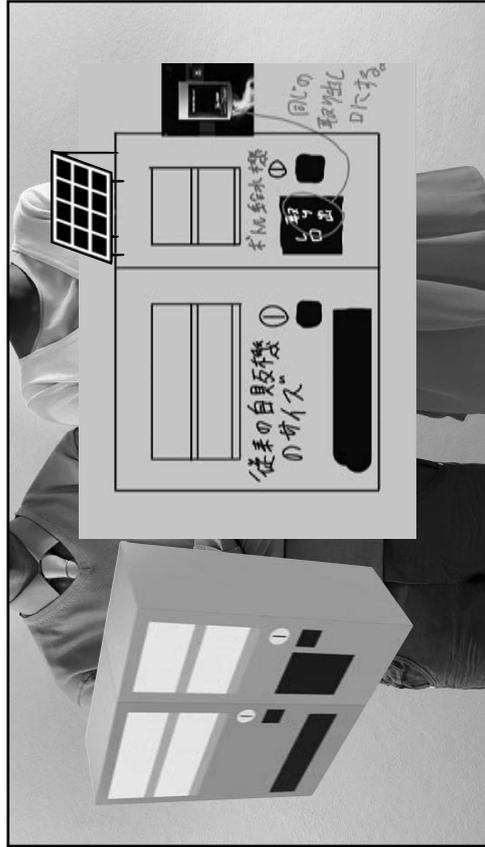
02

Chapter 2 Sakakihara Group
第二章. The best kid
解決策の提案



名称：ボトル専用供給機
『SAICO(SAISEI NO CORE)』

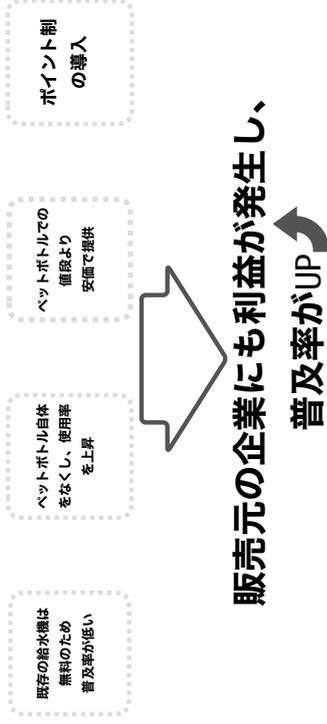
彩煌



他との差別化

03

既存のマイボトル給水機との違い



自社ならではの利益の増加



問題点と解決案①

Q：補給時に、飲み物の部分がマイボトルと触れたり、補給機内の隙間から害獣害虫等が侵入したりして、感染症が起こってしまおうという衛生面での問題を防ぐには？

A：既存するカップ式自販機のような形式で補充し、供給口以外は全て密閉して清潔に保つ。



問題点と解決案②

Q：従来の自販機とはまた大きく変わってくるが故、保温保冷時や冷却沸騰時、稼働する際のコストが従来のものよりも比べて高くなってしまわない為にどうするのか？

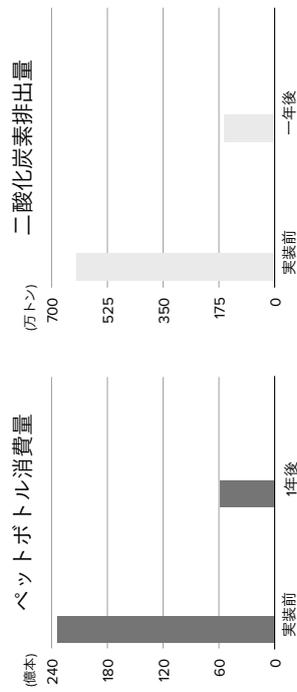
A：冷却時のコストは太陽光発電と熱発電を取り入れ、冷却装置はジーマックスの製品を利用し、冷却保冷や加熱保温も可能にする。



04

Chapter 4 Sakakibara Group
第四章. The best kid

解決策の変化と普及



ご清聴ありがとうございました。